

心身の健康と持続可能な食を支える食育の推進をめざして

伊勢原市長

高山 松太郎



本市では、これまで「食で育むいのちときずな」の基本理念のもと、様々な関連機関と連携しながら、食育に関する施策の計画的な推進に努めてまいりました。平成30年には「第3次伊勢原市食育推進計画」を策定し、「若い世代の朝食欠食」や「若い世代の女性のやせ」、「壮年期男性の肥満」、「高齢者の低栄養」など、本市の食に関する課題について、取組を進めてまいりました。

状況が改善するものもある一方で、未だ改善に至らない課題や、新型コロナウイルス感染症の影響により、食を取り巻く社会環境が大きく変化しています。会話やコミュニケーションが増えることや、食事がおいしく楽しく感じられる等のメリットのある「共食」の機会が減少するなど、市民の意識や行動にも変化がみられ、「新しい生活様式」へ対応した食育の推進が求められています。

さらに持続可能な社会の実現が世界的な課題となり、食に関しても次世代につながるよう、環境等に配慮した食への重要性が高まっています。

こうした背景を踏まえ、令和5年度から令和9年度までの5年間を計画期間とする「第4次伊勢原市食育推進計画」を策定いたしました。本計画では、「食で育み未来につなげるいのちときずな」を基本理念に、「市民一人ひとりの健康を支える食育」と「次世代につながる食を支える食育」の二つの視点から、生涯を通じた心身の健康と持続可能な食を支える食育の推進をめざすものです。

計画の推進にあたっては、市民の皆様をはじめ、地域、教育機関、企業など関係団体や行政等が連携・協力し、一体となり取り組んでいくことが必要です。今後も皆様のより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本計画の策定にあたり、パブリックコメントや意識調査に御協力くださいました市民の皆様、貴重な御意見や御指導を賜りました「食育推進計画策定委員会」の委員の皆様をはじめ、全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

令和5年3月